

お盆にあたって



今年もまた、月遅れのお盆の時期となりました。お盆は正しくは「盂蘭盆会」といい、インドの古代語の「ウランバナ」に由来するといわれております。そしてそのいわれを『仏説盂蘭盆経』は次によろに伝えていきます。

昔、お釈迦さまのお弟子であり、神通第一と言われていた目連尊者が、亡くなった自分の母親を神通力で探したところ、餓鬼道に落ちていたことを知った。尊者は母親に水や食べ物差し出したが、それらはことごとく炎と化して、母親は飢える一方だった。困った尊者がお釈迦さまに相談したところ、「安居（修行期間）が終わったら、全体的にお坊さんに食べ物施せば、その一部が母親の口にも入るだろう。」とお答えになった。尊者がお釈迦さまの言う通りに実行したところ、母親の口に入り、母親は餓鬼道から抜け出ることができたという。

当寺では、毎年お盆の最終日である十六日に、「施食会」という法要をお勤めしております。この法要は、目連尊者のこの逸話を背景としたものであり、後生の安楽を願う相手を直接ご供養するのではなく、一切の生きとし生ける存在、亡くなった方、親しい人、恨みに思う人に対して分け隔てなく「食」を「布施」する法要です。そして、その功德を、皆さんが日頃心に思われている方々に振り向けるのです。

私たちはとかく、「あの人は嫌いだから良くしてあげるのはやめよう」などと分け隔てし、また、「これだけのことをしたのだから、見返りがあるはずだ」と、「布施」ならぬ「心の取引」をしがちです。尊者の母親は、生前は尊者に対しては優しい人であったものの、他人の子供に対しては厳しく接するということ、「分け隔て」をする人であったため、餓鬼道に落ちてしまったと言われています。私たちは、そのことを教訓とし、「分け隔て」せず、また、見返りを求めずに「布施」することで、「心の餓鬼道」に落ちぬよう、そして皆さまが心に思われる方々が後生安楽であるようお祈りしたいものです。

お参りの方へのお願い

位牌堂、墓地の環境保全のため、お参り後、お供物は仏さまと共に召し上がりになるか、お持ち帰り頂きますようお願い申し上げます。
※位牌堂・本堂に休憩・食事スペースを設けましたので、ご利用下さい。また、譲り合っただけのご利用、ゴミの持ち帰りをお願いいたします。

保勝会主催 とうろう流しについて

開催日時…平成二十一年八月十六日（日）十八時三十分より
開催場所…大畑川下の橋（湯坂下側）

行事カレンダー（平成二十一年八月～平成二十二年二月）

■八月十六日 午前十一時～ 盂蘭盆会施食会（本堂）
有縁・無縁のありとあらゆる霊に食を施す法要です。

■九月二十三日（秋分の日） 午前十一時～ 彼岸会（本堂）
ご先祖さまに感謝し、自らを見つめ直すお彼岸。その中に行う法要です。

■十二月八日 午前十一時～ 成道会
お釈迦さまの「成道」にちなみ、その遺徳に報恩感謝する法要です。

■一月一日 午前0時～ 元朝大般若祈禱（本堂）
・除夜の鐘（鐘楼堂）

大般若経を転読し、皆さまの災障消除・福寿無量をお祈りいたします。また、鐘楼堂で行う除夜の鐘は、一般に開放しております。

編集後記

少しでも、当寺が皆さまにとって身近な存在でありつづけるよう、また、よりよく生きるための学びの場・交流の場、ご先祖さまを安らかに祀りするご供養の場であるよう、今後、より積極的な情報提供を続けてまいります。どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。
（編集子）

次号のご案内 第二号は平成二十二年一月一日に発行予定です。

「年頭挨拶」「行事報告」「季節の法話」などを予定しております。